

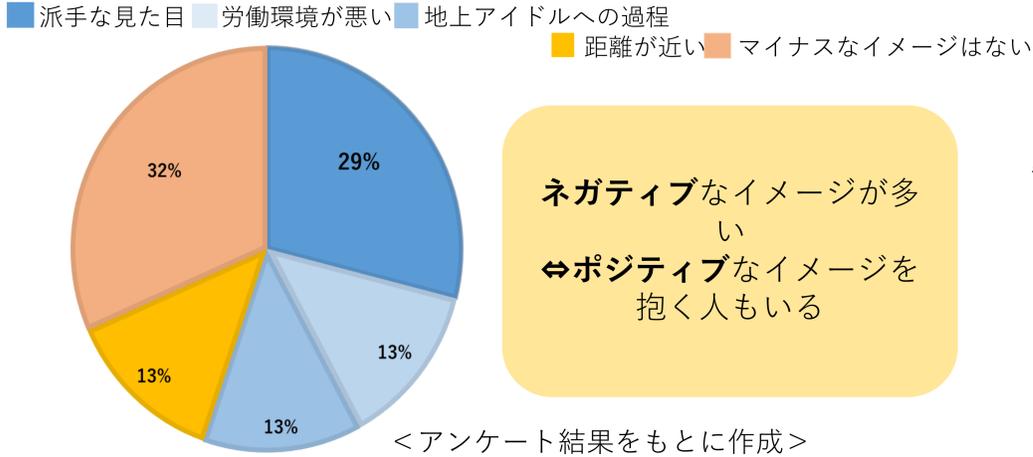
# メディアが生み出した『地下アイドル』とイメージ消費 Media-generated underground idols and image consumption

大山ゼミ TEAMシュレーディング

## 研究の背景と問い

### 地上アイドルと地下アイドルの境界線あるのか？

#### <地下アイドルに抱くイメージ>



人によって地下アイドルのイメージは異なるため境界線は曖昧



日本での序列意識やエンターテインメントとメディアとの関係性に注目し  
人びとのイメージを作っているのは何かを分析して  
地下アイドルとは何者かを明らかにする

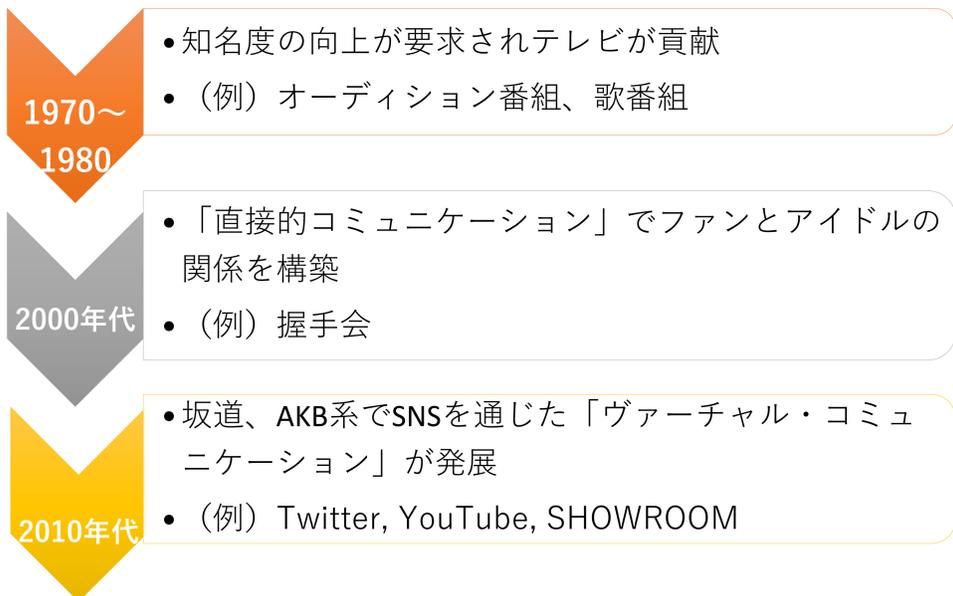
## 先行研究

### <地下アイドルの認識>

- ・ライブハウスが活動の中心「ライブアイドル」
- ・「地下」= 有名でない「マイナーなアイドル」
- ・独立した事務所で活動「インディーズアイドル」

SNSが普及した現代でも、この意味合いは変化していないのか？

## アイドルが活躍の場とするメディア変遷



### 「ヴァーチャル・直接コミュニケーション」とは

<長所> 知名度+歌, ダンス, ファンへのアクセス努力を正当に評価  
<短所> 満足度ですぐに「推し変」されるため、絶え間ない「消費者余剰」の提供が求められる

### メディアの多様化の影響

- ・メジャーアイドルは過度な接触をさげ、地下アイドルは過激化路線
- ・トレンドは「仮想空間」の存在→「身体性」重視の現実空間
- ファンが求めるもの
- ・より近くで応援し一緒にいることに喜びや幸せを感じる
- 「ヴァーチャル・直接的コミュニケーション」がマスメディアよりも適する

## AKB48の変遷

劇場=原点、頂点

普通の女の子がアイドルとして成長するのがコンセプト

### 従来のアイドルとの相違『会いに行けるアイドル』

握手会、ハイタッチ会、肩たたき、写真会、サイン会、メールサービス、SNS (Twitter / Instagram / 755 / Google+)

### AKB48がアイドル文化に与えた影響

#### ● アイドル価値の創生

成長性を見せることで、偶然存在するアイドルではなく、歌唱・ダンス・ファンへの努力が評価されるように『プロ意識』の芽生え

#### ● ライブアイドルの過酷性

人気を重要視するあまり、過度な努力で精神的・身体的ダメージ  
距離近くなったことによるファンの悪質行為が増加

## AKB48と比較する地下アイドル



AKB48

[https://tower.jp/article/feature\\_item/2022/08/09/0707](https://tower.jp/article/feature_item/2022/08/09/0707) より引用



地下アイドル

[https://x.com/mercurio\\_info/status/1671812883183976448?s=20](https://x.com/mercurio_info/status/1671812883183976448?s=20) より引用

### 比較① 構成 (プロデューサー・事務所)

秋元康 (放送作家、作詞家)  
→ 業界へのコネクション、キャリアを積むのに十分な知名度

メンバーが大手事務所に所属  
CDはキングレコード (2023年現在ユニバーサルミュージックへ移籍) から販売  
→ メディア露出に繋がる

メンバー、インフルエンサー、その他  
→ メンバー主体でグループのカラーを形成し自由度が高い。

小規模事務所に所属  
CDは小規模レーベルから販売 (CD販売を実施していないグループもある)

### 比較② メディア

冠番組、ドラマ、音楽番組への出演、SNS

限定配信、地方番組、SNS  
→ 大衆向けではないが、SNSで狭いターゲットへ共有

### 比較③ 活動 (ライブ・特典会・ビジュアル)

→ 大衆への布教、知名度が高い  
AKB48劇場、日本武道館、TOKYO DOME CITY など

テーブルを挟んで握手会、お話し会  
→ 接触が制限 (一定の距離感と壁)

正統派で管理・統一

ライブハウス、対バン、フェス

チェキ (30秒~1分の会話を含む) 写真・動画撮影  
→ 物理的距離 (腕や手の接触) が近く、自由度が高い

奇抜なコンセプトで個性が尊重される

## まとめ

### 地下アイドルとメジャーアイドルは別の存在

#### <考察>

- ・活動内容は類似
- ・理念の違いなのか
  - ・メジャーは産業的成功が前提⇔地下アイドルの活動の目的は？
  - ⇒ 成功はしたい (インディーズ的な存在)
  - ・地上への成り上がり? (メジャーへのテレビの影響は大きい)
  - ・自由な発信活動をしたい (アングラカルチャー)
  - ・過激な発言、独自の音楽性

#### <結論>

地下アイドルは地上の対義語ではない  
独自のアーティスト性を持つ別のジャンル。近年SNS上のコミュニケーションでファンの獲得が可能になったためにさらに発展している。